

麻生の棕の木と周辺スポット

砥部町いいところ
知らせ隊がいく



広報係が実際に歩いて感じた砥部町のおすすめのスポットを紹介するコーナー！

第7回では麻生地域を巡りました。

あちこちの田んぼで稲穂がなり、たくさんのトンボが飛んでいる中を散歩して
おいしいものを食べ、特産品に触れて、秋を楽しみました。

この広報がお手元に届くころには、稲も刈られ、もっと秋も深まっているでしょうね。



麻生の棕の木

樹高 11m
胸高幹周 400cm
根回り 5.8m

樹齢 500 年以上ともいわれ、平成 11 年には、町指定天然記念物に指定されました。かつてここにあった猿田彦命を祀るお宮は、今は三島神社の境内に合祀されていますが、地元の方々によって今もしめ縄飾りがなされ、ご神木として大事にさがめられている様子が伝わります。

古木になると「樹洞」という空洞ができやすいんだって～

きょうめいばん
橋名板のなぞ

橋を渡っていると、西側には「柳瀬橋」、東側には「やなせはし」と書いてありました。そういえばこの橋にも漢字とひらがながある気がする！気になって調べてみると決まりがありました。橋の名前が書いてあるものを橋名板といいます。橋を含む道路の起点側には漢字で、終点側にはひらがなで書き、また、川が濁らないようにとの思いを込めて、「〇〇ばし」と濁らさないそうです。

柳瀬橋 (西)

やなせはし (東)

よりみち
情報

YON MART (ヨンマート)

自身も「ワトサン製陶」という窯元を営む矢野さんが開いた砥部焼セレクトショップ。とべ動物園にいたシマウマのよんちゃんが好きだったところからお店の名前にしたそう。砥部焼に加え、矢野さんのまとう空気感と、レトロなグッズにも惹かれます。

IPPO (イッポ)

今年 15 年目を迎えるパン屋さん。名前の IPPO というのはお店のキャラクターのウサギの名前です。お客さんはリピーターさんも多く、リクエストで生まれたパンもたくさんあるそうです。丁寧に作られているのに、1 個 100 円もしない動物パンに驚き！

※ 営業時間など、詳しくはお店に確認をしてください。